

## 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	市民文化スポーツ局市民部市民活動推進課
評価対象期間	25年4月1日～26年3月31日

## 1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市旧古河鋳業若松ビル	施設類型	目的・機能
			I	— ⑥
	所 在 地	若松区本町一丁目11番18号		
	設置目的	地元住民・団体、地域行事等との連携を図りながら、交流・文化・観光拠点として広く活用する。		
利用料金制		非利用料金制 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	ペナルティ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名 称	中央興産株式会社		
	所 在 地	若松区浜町一丁目19番9号		
指定管理業務の内容		(1)管理運営に関する業務 (2)管理施設の使用許可に関する業務 (3)管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 (4)管理施設及び備品等の維持管理に関する業務 (5)利用者、来館者の案内及び説明に関する業務 (6)利用促進に関する業務 (7)その他、市が必要と認める業務		
指定期間		21年4月1日～26年3月31日		

## 2 評価結果

評価項目及び評価のポイント						
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み						
(1) 施設の設置目的の達成						
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。						
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。						
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。						
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。						
[所見]						
○ 施設の設置目的に沿った地元住民・団体、地域行事等との連携を図った管理運営や自主活動について積極的な取組みを行った結果、来館者数は当初の目標を上回ったものの、前年度に比べ減少している。これは、平成24年度に若戸大橋50周年記念事業等によるイベントが開催され、利用者数が大幅に増加したことが要因となった。						
	目標数(人)		実績数(人)		達成率(%)	
年度	館利用者	見学者	館利用者	見学者	館利用者	見学者
21	27,000	18,000	32,528	24,394	120.5%	135.5%
22	28,200	18,800	34,641	24,264	122.8%	129.1%
23	30,000	20,000	33,766	31,293	112.6%	156.5%
24	31,000	21,000	42,457	31,299	137.0%	149.0%
25	33,000	22,000	37,972	26,264	115.1%	119.4%
○ 「登録クラブ制度」により利用促進を図り、その取組みを継続して行っている。						
○ 観光ボランティアを育成するとともに、団体観光に対して観光ルートを提案するなど、観光客の受入れのための取組みにも力を入れている。						
○ 市民センター等の公共施設への出前講演、区政行事への参加、小学生向けの行事開催など地域に根ざした活動を積極的に行っている。						
○ 区政番組やマスコミへの取材協力、独自広報誌の発刊など、効果的な広報活動により、認知度も向上している。						
(2) 利用者の満足度						
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。						
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。						
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。						
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。						

- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

**【所見】**

- 利用者アンケート等の結果、無回答者を除き施設利用者の感想が、97.2%が「利用しやすい」と回答しており、職員の対応については、「良かった」との回答が100%であった。
- イベント情報等を館内に掲示するにとどまらず、広報誌発行やマスコミへの取材対応等により、広く情報提供に努めている。

年度	施設の利用(%)	職員の対応(%)
21	91.1	96.7
22	95.0	98.9
23	96.4	99.8
24	97.9	99.6
25	97.2	100.0

**2 効率性の向上等に関する取組み**

**(1) 経費の低減等**

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

**【所見】**

- 予算書の歳出見込額と決算書の歳出実績額を比較した場合、3.16%減少している。歳出額を前年度と比較した場合、4.73%減少している。

年度	予算額(円)	決算額(円)	対予算
21	12,280,000	10,641,623	/
22	10,300,000	11,222,636	
23	10,845,000	10,777,229	
24	10,845,000	11,022,861	
25	10,845,000	10,502,004	
対前年度(24・25比較)		▲520,857	

- 光熱水費を前年度と比較した場合、4.36%増加しているが、光熱水費の値上がりが要因であり、使用量は、いずれも2.4%以上削減できている。

光熱水費		平成24年度	平成25年度	増減
決算額(円)		1,575,572	1,644,248	68,676
使用量	電気(kWh)	34,945	33,401	▲1,544
	ガス(m <sup>3</sup> )	3,584	3,497	▲87
	上下水道(m <sup>3</sup> )	302	271	▲31

## (2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

### [所見]

広報誌の発刊、市政番組やマスコミへの取材協力、定期利用者や観光客に対する集客対策に加え、地域団体等との連携によるイベント開催等を積極的に実施し、施設利用者の増加と施設利用料の増収を図るための取り組みが行われたが、前年度と比較して若干収入は減少している。

- 予算書の収入見込額と決算書の収入実績額を比較した場合、0.58%減少した。

平成25年度	予算書	決算書	増減
歳入額	10,845,000円	10,782,416円	▲62,584円

- 利用料金収入は、前年度と比較した場合、4.16%減少した。

年度	予算額(円)	決算額(円)	対予算
21	3,080,000	3,175,550	\
22	3,080,000	3,107,990	
23	3,044,000	3,043,590	
24	3,044,000	3,111,490	
25	3,044,000	2,982,110	
対前年度(24・25比較)		▲129,380	

## 3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み

### (1) 施設の管理運営(指定管理業務)の実施状況

- ① 施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか(管理コストの水準、研修内容など)。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

### [所見]

施設の管理運営にあたり人員は適切に配置されていた。

職員の資質・能力向上を図る取り組みについては、人権学習や暴追対策等の職員研修の実施など、必要な水準の確保が図られていた。

地域や関係団体との協働については、各種連絡会議への出席のほか、地域への出前講演や区政番組への協力などを積極的に行っている。

### (2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報を守るための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。

⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。

⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。

⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

**【所見】**

- 個人情報の保護に関しては、プライバシーポリシーを提示し、個人情報を利用する際は必ず施設利用者の承認を得るなど、必要な取組みがなされている。
- 適切な会計事務が行われており、問題はない。
- 消防訓練の実施を含めた防火対策や防犯、安全対策に努めて、事故などの発生は、報告されていない。

**【総合評価】**

**【所見】**

利用者アンケートによれば、利用者の満足度は、非常に高い評価を得ている。

また、光熱水費の値上げによって決算額には現れていないものの、節電への取組み等により、使用量が削減されるなど、指定管理者の手腕が高く評価される。

洞海湾クルージングや若松南海岸通りイルミネーション、洞海湾花火大会への協力など、地域のにぎわいづくりに貢献している。

設置目的である交流・文化・観光の拠点として、積極的な取組みがなされており、高く評価することができる。